

中学地理プリント（書き取り）
日本の資源と産業

名前

得点

/20

- 問1 1980年代に、日本から自動車や半導体などが大量に輸出されたことで生じた国際的な不釣り合いを何という？
- 問2 かつて大阪湾周辺で、繊維製品などの製造を中心に発展した工業を何という？
- 問3 天然の資源を保護しつつ安定した供給を行うために、養殖業と組み合わせて取り組まれる手法を何という？
- 問4 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？
- 問5 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？
- 問6 高原などの冷涼な気候を利用して、平地の出荷が終わった時期に野菜を出荷する栽培方法を何という？
- 問7 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？
- 問8 稚魚や稚貝を人の手で育ててから海に放流し、成長してから捕獲する手法を何という？
- 問9 日本企業がコスト削減を目的に生産拠点を海外へ移転した結果、国内の産業が衰退してしまう現象を何という？
- 問10 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？
- 問11 冬の寒さを防ぎ、気温をコントロールして促成栽培を行うために積極的に利用される設備を何という？
- 問12 日本企業が海外の工場建設や現地法人設立のために資金を投入することを何という？
- 問13 福岡県に建設され、石炭資源を利用して日本の重化学工業の発展の起点となった製鉄所を何という？
- 問14 太平洋ベルトを中心に発展し、日本の主要な輸出製品を製造している産業分野を何という？
- 問15 愛知県を中心に広がり、自動車の生産額が日本で最も多い工業地帯を何という？
- 問16 日本の栽培漁業において、沿岸部で盛んに増殖が行われている代表的な高級魚を何という？
- 問17 長野県に位置し、夏に涼しい気候を生かしたレタスなどの生産が盛んな高原地帯はどこ？
- 問18 太陽光や風力のように、自然界で繰り返し利用でき、発電時に二酸化炭素を排出しないものを何という？
- 問19 製品の素材を加工して部品を作り、それを組み立てて製品を完成させるタイプの工業を何という？
- 問20 生産された作物を大都市などの消費地へ流通させるために経由する、卸売の拠点となる場所を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 貿易不均衡	しかし、日本からの輸出が急増しすぎること、輸入相手国との間で「貿易不均衡」が生じました。特にアメリカとの間では激しい摩擦（貿易摩擦）となり、日本の製品に対する関税の引き上げや、輸出の自主規制などが求められる事態となりました。
問2	答え 綿工業	阪神工業地帯の発展初期において、綿工業は中心的な役割を果たしました。安価な労働力と輸出に適した立地を活かし、大阪は「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど繊維産業で栄えました。
問3	答え 栽培漁業	栽培漁業は、養殖業が生け簀内で最後まで育てるのに対し、自然の海に放流して成長を委ねる点が特徴です。これにより、魚の運動量が増え、より天然に近い状態で収穫できるメリットがあります。
問4	答え 近郊農業	近郊農業は、大都市に近い平野部で行われます。消費地に近いため、収穫したその日に店に並べることが可能であり、鮮度が求められるほうれん草や小松菜などの生産が盛んです。
問5	答え 太平洋側	促成栽培とは、気温の高い地域や施設を利用して、野菜の収穫時期を通常より早める技術です。冬に収穫できることで市場価格が高くなりやすい時期に出荷できるため、農家の収益向上にもつながります。
問6	答え 抑制栽培	抑制栽培は、夏でも涼しい高原地域などの環境を利用して、本来の旬より遅い時期に出荷を行う技術です。これにより、平地の産地が品薄になる夏場に新鮮な野菜を市場に供給することができます。
問7	答え 現地生産	「現地生産」は、製品を売る国の中で工場を運営する方式です。これにより、相手国の雇用を増やし、物流コストを抑えることができます。特に自動車産業では、日本メーカーがアメリカや欧州に大規模な工場を次々と建設しました。
問8	答え 栽培漁業	栽培漁業は、人工孵化させた稚魚や稚貝を、ある程度大きくなるまで飼育し、その後海に放流する手法です。自然界で成長した個体を捕獲するため、天然に近い状態で水揚げできるのが特徴です。【概要】マダイやヒラメ、クルマエビなどで盛んに行われており、日本の水産資源の維持と安定供給に大きく貢献しています。
問9	答え 製造業	国内の工場が減ることで、関連する下請け企業への発注が減り、地域の雇用が失われるなどの問題が起きました。これを「産業の空洞化」と呼びます。特に国内のモノづくりを支えてきた製造業において大きな打撃となりました。
問10	答え 太平洋側	太平洋ベルトと呼ばれるこの地域には、京浜や阪神などの主要な工業地帯が並んでいます。気候が温暖で人口も多く、巨大な消費地と生産地が近接しているため、工業の発展には非常に有利な条件が揃っていました。
問11	答え ビニールハウス	ビニールハウスは、骨組みにビニールやプラスチックのシートを張り、内部の温度や湿度を管理する施設です。太陽光を透過させて内部を暖め、外気の影響を抑えることで、野菜の成長を早めることができます。
問12	答え 直接投資	「直接投資」とは、単なる証券投資とは異なり、海外で現地生産のための拠点を設けるような経済活動を指します。これにより、現地での雇用創出や技術移転が行われる一方、国内での生産活動が減少するという側面も持ち合わせています。
問13	答え 八幡製鉄所	八幡製鉄所は、1901年に操業を開始した官営製鉄所です。ここでの成功により、日本は鉄鋼製品を自給できるようになり、重化学工業の土台が築かれました。
問14	答え 自動車工業	自動車工業は、鉄鋼、機械、電気など数多くの関連産業から成り立つ「すそ野の広い産業」です。多くの部品を港に近い工場で組み立て、完成車として世界へ輸出する体制が整っています。
問15	答え 自動車工業	中京工業地帯は自動車工業の生産額で日本一を誇ります。完成車メーカーだけでなく、数多くの下請け企業や部品メーカーが周囲に集積し、効率的な生産システムが確立されています。
問16	答え マダイ	マダイは、孵化場で卵から稚魚まで育て、ある程度の大きさになったところで海に放流します。放流された稚魚は自然の海で成長し、一定の大きさになったところで再び漁獲されます。
問17	答え 野辺山高原	野辺山高原は長野県南牧村を中心に広がる高原地帯で、夏場の冷涼な気候を最大限に活用した抑制栽培が行われています。特にレタスの生産量は全国的にも非常に多く、大規模な農業経営が展開されています。
問18	答え 再生可能エネルギー	「再生可能エネルギー」は、太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスなどが含まれます。これらは発電時に温室効果ガスをほとんど出さないため、地球環境に優しいエネルギーとして期待されています。
問19	答え 加工組立型	加工組立型工業とは、部品を組み合わせる自動車や機械などの生産を指します。多くの専門的な中小企業が関わることで、高度な製品を効率よく生産できるのが特徴です。
問20	答え 市場	市場は、生産者が育てた野菜や果物を全国から集め、仲卸業者を通じてスーパーマーケットや小売店へ流通させる拠点です。適切な価格形成を行い、安定した供給を保证する役割を担っています。